

別表 2 環境要素の区分

<p>1 人の健康の保護及び生活環境の保全、並びに環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>	<p>(1) 大気質 (2) 騒音 (3) 振動 (4) 悪臭 (5) 低周波音（超低周波音を含む） (6) 風害 (7) 水質（底質及び地下水を含む） (8) 地形及び地質 (9) 地盤沈下 (10) 土壌 (11) 日照阻害 (12) 電波障害 (13) 風車の影（シャドーフリッカー）</p>
<p>2 生物の多様性の確保及び多様な自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>	<p>(1) 植物 (2) 動物 (3) 生態系</p>
<p>3 人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>	<p>(1) 景観 (2) 人と自然との触れ合いの活動の場</p>
<p>4 環境への負荷の回避・低減及び地球環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>	<p>(1) 廃棄物等 (2) 温室効果ガス</p>
<p>5 一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき環境要素</p>	<p>(1) 放射線の量</p>